

## 植樹イベント 総領事挨拶（3月15日）

### <日独逐次通訳>

レルシュ＝メンゼ大臣

本多デュッセルドルフ日本人学校校長

今野デュッセルドルフ日本人学校理事長

吉田デュッセルドルフ日本クラブ会長

森デュッセルドルフ日本商工会議所事務総長

お集まりの皆さま

- 本日は桜の木の植樹式典にお招き頂き感謝。
- 2月16日に、岸田外務大臣がデュッセルドルフを訪問し、州首相府においてクラフト州首相と会談を行うとともに、当地日本人社会代表者との懇談を行いました。日本の外務大臣の NRW 州訪問は18年ぶりの歴史的なものであり、クラフト州首相との間でも和やかな雰囲気の中で大変有意義な意見交換が行われました。クラフト州首相からは、「日本はアジアで最も重要なパートナー」との大変ありがたいお言葉を頂きました。
- その際、岸田外務大臣とクラフト州首相から、当地日本人コミュニティに対し、桜の木が贈呈されました。本日、レルシュ＝メンゼ大臣にも立ち会って頂き、植樹式典が開催されることを大変嬉しく思います。記念プレートにも刻まれているとおり、この桜は NRW 州における日独の末永い友好のシンボルであり、これが日本人学校に植えられることは大きな意義があります。今後、日本人学校の先生方及び生徒さんの手でこの日独友好のシンボルを大事に育てて頂き、毎年春にきれいな桜の花を楽しんで頂くことを祈念いたします。